

キャリアコンサルティング技能検定2級 学科・実技（面接）試験 体験記

平成28年 9月 5日

2級受検番号 05S3510012

氏名 O.K (京都 在住)

1 試験に向けた準備の状況

4月29日、ゴールデンウィーク初日から始めました。

どのような内容を、どの程度行ったか

☆評価項目をしっかりと把握した上で、下記のことを行いました。

論述

休みの日に最低でも過去問を一つは解くようにして、「解いた内容が評価区分に沿っているかの確認」や、「自分が使っていない言葉や書き方など、新しく吸収できることはないか」といったことを、一緒に勉強した仲間と情報共有しました。

面接

・以前より、東日本では有名で人気講座と聞いていた、1級キャリアコンサルティング技能士の会主催の「2級実技(面接)試験対策 短期集中強化講座」が大阪開催されることを知り参加。聞いていたとおり、試験で求められるスキルや、具体的にすべきこと。評価区分の内容分析を通じて、その対応の仕方を分かりやすく教えていただきました。その上で実際にロープレの練習を行い、一級技能士の資格を持った講師の方や、二級技能士の資格を持ったアドバイザーの方々がロープレの内容を的確に把握してくださったことで、自分では分からなかった改善点が、とてもよく理解できました。

- ・講師の方はとっても気さくで、あっという間に講座終了の時間が来た感じです。前々から受けたいと思っていた講座だったので、講座の受講と試験合格の二つの願が一度に叶いました。
- ・講座で教えていただいたことを意識しながら、一緒に受験する仲間と Skype を使ってのロープレ練習を行い、口頭試問もしっかりと答えられるようにしました。また練習内容を録音したものを、仕事の行き帰りに何度も聞き、自分の良い点と改善すべき点の把握に努めました。

準備に対する振り返り

- ・面談では、「2級実技(面接)試験対策 短期集中強化講座」で教えていただいた、システムティックアプローチのポイントを踏まえながらロープレの練習を行ったことで、やみくもに時間を費やすのではなく、時間がない中で効率的に勉強を進めることができました。
- ・論述では、一緒に試験を受けた仲間と内容の相互確認等を行ったことが、良かったのではないかと思います。

これから受検する人へのアドバイス

- ・回を追うごとに合格率が厳しくなっている現状を考えると、しっかりと理論やポイントを把握しないと、合格することは難しいように思います。今回の「2級実技(面接)試験対策 短期集中強化講座」に参加していなければ、上記の点を押さえることはできなかったと思います。

- 2 試験当日の状況（試験場での様子を思い出しながら、記述または選択して○をつけてください）
試験日：7月24日

試験希望日をこの日に設定した理由は何ですか。

- ・自分が試験を受けるまで、少しでも沢山面接対策の勉強をしたかったからです。

試験会場：大阪

試験官の性別：男性2人	事例番号：1	②	3	4
-------------	--------	---	---	---

- 3 試験の状況（ロールプレイの流れや特徴点について記述してください。その他、試験中に意識したこと、注意したこと、事例相談者の対応など、気づいたことを自由に）

① 導入部	試験室のドアを開けたときから、常に笑顔を意識しつつ、柔らかい表情で相談者に挨拶をして、話しやすい雰囲気作りを心掛けました。
① 基本的態度	うなずき、あいづち、共感的な態度を取ることを忘れず、それらをしっかりと行うことを意識しました。
② 関係構築	質問は基本的にオープンクエスションを使い、相談者が今まで頑張ってきたことへの労いや、悩んでいる気持ちをしっかりと受け止めて、感情の言葉を中心に、なるべく短く言葉を返すようにしました。その結果、傾聴の時間を13~14分くらい取りました。
③ 問題把握	相談者の抱える問題は、感情の言葉を中心にして、長くなり過ぎないように要約をすることで、相談者の同意を得ました。 コンサルタント視点の問題点は、自己理解・仕事理解不足、認知の歪みなどの言葉を念頭に置き、相談者の話を聴ききながら、相談者が言った考え方や気持ちの持ち方に、コンサルタント視点の問題が隠れていないかを見つけることを意識しました。 私が見受けたコンサルタント視点の相談者の問題は、「昇進したいのに、昇進するための基準をしっかりと把握していない」等でした。
④ 具体的展開	「昇進するための評価基準を知るために、上司にその基準を確認してみる」を、目標として提案しました。しかし上司に直接聞くことは抵抗があると、相談者がおっしやだったので、最初は少し強引に「評価基準を知らないと、努力をしても基準を満たさない場合がありますが、いかがですか」などと言い、上司に聞くことを勧めましたが、なかなか同意してもらえませんでした。 そこで「たとえば、どんな方法なら基準を知ることができますか？」と尋ねたところ、「直接ではなく、誰かを介してなら聞くことができる。ただ、誰に聞けばいいのかわからない」との返答がありました。 そこで「誰に聞けばいいのか、聞ける人を探すことも含めて、評価基準を知ること」を目標として、今後話を進めてもいいですか」と伝え、同意していただけました。「方策として、評価基準を聞くために・・・」と、ここまで言ったところで時間がきました。

<p>⑥ 口頭試問の内容と回答</p>	<p><u>良かった点と改善点</u></p> <p><u>良かった点</u> コンサルタント視点の相談者の問題を伝え、それに納得してもらえたこと。うなずき、あいづち、表情などに気をつけ、相談者に寄り添えたこと。</p> <p><u>改善点</u> 目標設定で、少し強引に上司へ評価基準を聞くことを勧めてしまい、時間がかかってしまいました。もっと早く相談者に「他の方法で思いつくことはないか」と聞けば、よりスムーズに話が運んでいたと思います。</p> <p><u>信頼関係の構築</u> 感情の言葉を中心に言葉を返し、それに相談者が同意してくれたこと。目標などに合意してもらえたことなどから、信頼関係はある程度築くことができたと思います。</p> <p><u>相談者の問題点</u> 今の会社に入ってから独学で資格を取るなどして頑張っているのに、会社は評価してくれない。本当は今の会社で評価してもらいたいが、評価してもらえないなら、転職することまで考えるほど悩んでいる。</p> <p><u>コンサルタント視点の相談者の問題</u> 昇進するための基準を知らないにもかかわらず、昇進でないとやっている点に、仕事理解不足が見受けられる。また、上司に相談できないと思い込んでいるように思われる。</p> <p><u>この面談の中で、どこまでできたと思うか。また今後やろうと考えていることは何か？</u> 相談者の話をしっかりと聴きした結果、私が見立てた相談者の問題を受け入れてもらい、「まずは昇進するための評価基準を知る」という目標に、同意していただくところまではできました。このあとの方策として、「自分がどういう理由で昇進したいのか」「昇進して何がやりたいのか」「どう言えば、より気持ちが伝わるのか」などのことを一緒に考え、相談者の言いたいことをコンパクトにまとめつつ、彼の気持ちが伝わるような質問の仕方を一緒に考えることを、方策として提案したいと考えています。</p>
<p>これから受検する人へのアドバイス</p>	<p>ロープレに集中するあまり、口頭試問で気が抜けてしまうことがあります。口頭試問までが試験なので、試験の評価区分をしっかりと把握した上で、たどたどしいながらも、自分の見立てを言えるようにしておくことが、とても大切だと思います。</p>

一般社団法人1級キャリアコンサルティング技能士の会
分析チームからの「ひとこと」

試験の状況 上記の赤い
文字をご注目ください

■合格されたポイント

- ① 問題把握について、要約して説明し、合意を得ています。
- ② 目標設定で、合意が得られない時に別の提案をして、合意してもらっています。
- ③ 方策の実行はロープレでは途中でしたが、やりたかった方策を「口頭試問」で、試験官に話しアピールしています。